

# 地域見守り協力員事業と 情報紙訪問配布事業

新宿区で「ぬくもりだより」をお配りしながら高齢者を見守る事業は、新宿区福祉部高齢者支援課の「情報紙訪問配布事業」と新宿社協の「地域見守り協力員事業」の二つがあります。

情報紙訪問配布事業は、月に2回、配布員が75歳以上の一人暮らしの方のご自宅を訪問し、元気な様子を確認しながら情報紙「ぬくもりだより」をお届けします。

地域見守り協力員事業は、新宿社協がコーディネートし、地域のボランティアが見守り・声かけを行います。詳細は[地域見守り協力員事業](#)をご参照ください。

二つの見守り事業の違いは、以下のとおりです。

| ご本人の状況                                 | 新宿区<br>情報紙訪問配布 | 新宿社協<br>地域見守り協力員 |
|----------------------------------------|----------------|------------------|
| 家族と同居しているが、<br>日中に一人になる。               | 対象外            | <u>利用可能</u>      |
| 近隣に家族が住んでおり、<br>頻繁に交流があるが、<br>訪問を希望する。 | 対象外            | <u>利用可能</u>      |
| 75歳以上の<br>二人暮らしである。                    | 対象外            | <u>利用可能</u>      |
| 介護サービスを利用している。                         | 対象外            | <u>利用可能</u>      |

新宿区福祉部高齢者支援課「情報紙訪問配布事業」で配布対象外でも、地域見守り協力員事業ならご利用いただける方がいます。

そのような方は、ぜひ地域見守り協力員事業をご利用ください。